

平成18年2月24日



都道府県医師会会長殿  
日本医師会代議員殿  
日本医師会予備代議員殿  
十三大都市医師会会長殿  
郡市区医師会会長殿

唐澤祥人日本医師会会長候補選挙対策本部

本部長 倉品克明

事務局長 鈴木聡男

唐澤祥人日本医師会会長候補

「一刻の猶予もゆるされない」「マニフェスト」の送付について

拝啓 余寒の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

唐澤祥人の立候補にあたっては、格別のご厚情を賜り御礼を申し上げます。

立候補にあたりまして「今、どうして選挙をするのか、一致団結で行ったほうが良いのでは無いか」あるいは「一期では評価できない、あと一期様子をみては」というご質問を受ける事がございます。

事態は深刻でございます。どうか一刻も猶予出来ない事をご理解のうえ

唐澤祥人候補に絶大なるご支援をお願い申し上げます。

敬具

---

小郡三井医師会より

会長 丸山

# Manifesto

マニフェスト——日本医師会会長選挙立候補にあたって

から さわ よし ひと  
**唐澤祥人** 東京都医師会会長

医療を守る。



# 日本医師会長立候補にあたって <sup>から</sup>唐 <sup>さわ</sup>澤 <sup>よし</sup>祥 <sup>ひと</sup>人の考え

## ～確固たる医療理念に基づく活動の展開～

国民の生命と健康を守るため、全国の医師の叡智を結集して、  
この国の風土と文化と時代に則した、日本医師会の医療と医政における機能を再構築し、  
国民と会員とともに医療改革の正道を歩みます。



- 国民の健康・生活の質・文化への貢献
- 心あたたまる医療・支えである医療・満足のいく医療の展開
- 安全と安心の医療の提供
- 包括的な地域医療システムの確立
- 社会連帯理念とボランティア活動の醸成
- 国際的視野に立った人間の安全保障への貢献
- 医療現場から国民への情報の発信
- 徹底した対話による国民合意の形成
- 医療政策のあらゆる決定プロセスへの積極的な参加と提言
- 国・政権政党との適正な連携と医政の再構築
- 全国の叡智を結集した医療政策集団としての日医の再生
- 生涯を通じた、保健・福祉・医療の提供による地域への貢献
- 国民皆保険制度の堅持
- 国民と医師の自由な関係に基づく医療の堅持
- 医療におけるリスクマネジメントシステムの確立
- 高齢者医療制度と療養病床の整備、在宅ケアの推進
- 地域に根ざした医療の継続可能性の確保と税制の改善

## 国民の健康・生活の質・文化への貢献

今、医師には疾患や障害や衰弱の克服だけではなく、身体的、精神的、社会的に良好な状態を維持し、身を置く文化や価値観の中での目標や期待、規範、関心事の達成を支援し、一人ひとりの健康や生活の質を支える医療の展開が求められています。それは文化にあふれ安全に配慮された生きがいのある社会、規範・倫理・道徳の成熟した豊かな社会の実現と不可分であり、風土や伝統、生活構造や産業、交通等の社会資源をふまえた、医療体制づくりが日本医師会に課せられた文化的使命であると考えます。

## 心あたたまる医療・支えである医療・満足のいく医療の展開

我が国が直面する長寿社会を価値あるものにすべく、不安多き高齢者の心を感じ、人口減少社会に育つ子供たちの未来を見据え、中核たる就労世代の支えとなる、全世代に亘って的確な医療を構築し、心あたたまる医療、支えである医療、満足のいく医療を丁寧に展開して行くことが大切です。国民のニーズと時代の求めに応じた、新たな医師と日本医師会の役割を創造、実践して行くことが、医療の信頼の確保につながるものと考えます。

## 安全と安心の医療の提供

国民にとってわかりやすく、いつでもどこでも身近にあり、安全で安心な医療を提供し、その負託に答えることは医師の念願です。それらには常に十分な説明と情報、最新の科学的根拠に基づいた技術、きめ細かい心のケアの提供が不可欠であり、医師をはじめとする医療専門職の、日頃からの高いレベルの意欲と研鑽と倫理なくしては成し得ず、またその背景となる環境と資源の整備には、適正な財源が必要です。医療安全や医療提供体制の喫緊の課題への対応と中長期的な取り組みの充実により、国民の理解と信頼を確実にして行きます。

## 包括的な地域医療システムの確立

地域特性に則した包括的な地域医療システムの確立については、地域の行政当局との政策連携の強化、医療専門職間、多職種間の連携の充実と、日常的に頻度の高い医療、緊急性の高い集中的な医療、高度な専門的医療、慢性期や終末期の医療の機能連携における受診者を中心とした情報の伝達体制の整備が必要です。また小児救急、疾患や診療科ごとの医療連携システムの充実、生活機能の維持向上と生活の質を支える医療の展開、認知症対応力の向上等かかりつけ医機能の一層の強化、地域包括支援センターや介護予防事業への関与、地域リハビリテーションの充実、在宅医療の基盤整備が重要であり、幅広い地域医師会の活動への積極的支援を実施して行きます。

## 社会連帯理念とボランティア活動の醸成

医療は、人が人を支え、人が人を癒す活動です。欧米に比すまでもなく、わが国の医療現場におけるマンパワーの配置数は不足しており、医療従事者の過酷な労働によって、低負担の医療が支えられています。財源の縮小と少子高齢・人口減少社会の先行きには多くの困難が予測され、医療の満足度や安全の向上を達成してゆくためには、地域の様々な規模の健康づくりのイベントや集会などへの積極的な協力・参加を通じて、医療現場の現状を伝え、社会連帯理念とボランティア活動の醸成に努め、地域住民による地域住民のための医療環境作りの推進が求められます。

## 国際的視野に立った人間の安全保障への貢献

地球規模の環境の破壊や新興感染症をはじめ、国の内外ともに多くの事件や災害が尽きず、ひとり我が国が公衆衛生や災害へのシステムを強化にするだけで対処することは困難であり、国や地域が互いに安全や生存を守るために、より一層協調しあわなければならない時代となりました。国際的視野に立ち、危機管理に向けた包括的な人間の安全保障に寄与するシステムの構築に積極的に貢献して行きたいと考えます。

政治

政治なくして医政なし、

医療

## 医政

# 医政なくして医療なし

### 医療現場から国民への情報の発信

医療の専門集団として確固たる医療理念に基づき、地域医療の現場の声を正しく国民に伝え、真の国民医療のあり方についての説明責任を果たし、国民の理解を求めて行きます。

### 徹底した対話による国民合意の形成

時代の水準に応じた医療を公平に提供し、相互扶助による健康で文化的な生活の保障を実現することが真の医療制度改革であると考えます。国民に語りかけ、問いかけ、徹底した対話により、国民合意の形成に寄与し、国民から支持され信頼される医療の実現に最大限の努力をいたします。

### 医療政策のあらゆる決定プロセスへの積極的な参加と提言

政治なくして国民医療を構築することはできません。提示された政策にただ対峙するのではなく、医療に関するあらゆる政策決定プロセスへの積極的参加を通して、国民のための医療の実現に資する政策提言を行い、国民、政府、政党、政治家、各種業界団体、マスメディア等様々な分野との密接な対話を重ね、より良き政策を生み出し、これを具現化します。

### 国・政権政党との適正な連携と医政の再構築

国民の総意を的確に捉え、国や政権政党との円滑な連携を再構築し、医政における日本医師会の機能を再生し国民の生命と健康への責任を果たします。

### 全国の叡智を結集した医療政策集団としての日医の再生

全国の医師の叡智と地域医師会の創造力、日医総研の機能を結集し、日本医師会を国民医療に関する政策集団として再構築し、医政にあたりとともに、全国各地の地域特性に則した医療活動を支援します。

## 生涯を通じた、保健・福祉・医療の提供による地域への貢献

暮らしやすい地域作りの根幹は、慣れ親しんだ自然や生活環境、見知った人々の中に身を置き、個々の価値観に沿った生活の達成の支援と、計らずも疾病や障害を被った時、可能な限りその継続が望める体制の充実にあります。

さらには、その地域に生まれ、育まれ、成長し、社会を支え、尊厳ある生涯を全うするまでの、生涯を通じた一元的な保健・福祉・医療・介護の提供が求められ、そのトータルヘルスプロモーションの舵取り役こそ、母子保健から学校医活動、産業医活動や生活習慣病の予防管理、在宅医療や看取りまでを行ってきた地域のかかりつけ医であり、その機能の向上こそが時代の求めるものとの認識に立って、かかりつけ医活動を支援して行きます。

## 国民皆保険制度の堅持

世界的に高い評価を得るわが国の国民皆保険制度は、国民のより良き生存のための最大の文化的成果です。現在の財政主導の医療政策は、国民皆保険制度の基盤と医療提供体制を弱体化し、社会的弱者の医療へのアクセスを制約し、医療の普遍・平等の大原則を根本から揺るがすものです。皆保険制度の恒久的な確保のために、医療政策の改善を強く訴えてまいります。

## 国民と医師の自由な関係に基づく医療の堅持

進歩する医学技術の成果を速やかに公的医療保険に適用し、フリーアクセスと自由開業制による国民と医師の自由な関係と信頼に基づき、医師の裁量と患者の選択による、最善の医療の保障に医療の原点があります。医療は消費ではなく市場原理になじむものではありません。営利企業の参入は、地域に根ざす医療を追いやり、混合診療の拡大は公的保険の守備範囲を縮小し先進医療の普遍化を阻害し、国民医療が私的保険者の意図に左右される懸念があることを強く訴えてまいります。

政治

政治なくして医政なし、

医療

## 医政

# 医政なくして医療なし

### 医療におけるリスクマネジメントシステムの確立

疾病や障害の克服に立ち向かう医療のアウトカムは、結果の約束された商品ではなく、医師の裁量と患者の同意に基づく共同作業の結果もたらされるものです。予見されるリスクへの備えがあっても、不可抗力により予期せぬ不幸な結果に至ることもあります。医療への信頼を確立するためにも、医療現場のインシデントやアクシデントを公正な場で検証、分析し、事後の安全確保に資する努力が重要であり、過失による刑事的事案とは区分して、裁判外紛争処理を行なうなど、医療における開かれたリスクマネジメントシステムの確立が必要です。

### 高齢者医療制度と療養病床の整備、在宅ケアの推進

入院期間や病床の制約は、十分な体制のない在宅や介護施設に、医療ニーズの高い療養者を急増させています。唐突にも新たな療養型病床の大幅な削減策が示され、在宅対応が困難な療養者が行き場所を失う懸念すらあります。高齢者医療制度の創設に併せて、国民や医療提供者との議論を尽くして高齢者と若中年層の療養病床の適切な整備、在宅ケアの充実が図られるべきであり、財政主導の机上の医療政策と言わざるを得ません。医療と介護を包括した的確な在宅ケアを推進し、国民の尊厳ある療養を支えるとともに、病院・介護施設団体や医療・介護・福祉従事者団体との協調により、失われた医政を再生し、国民医療を守る強い意思を示して行きます。

### 地域に根ざした医療の継続可能性の確保と税制の改善

医療機関は、高い経営理念と非営利性を担保に、市場原理に翻弄されない地域の社会資源として位置づけられてきました。しかしながら財政主導の政策、連続した医療費の削減は経営基盤を脆弱化し、医療従事者の展望を失わせています。進歩する医療技術に応じた設備機器の整備、地域に根ざした医療を継続するための再投資、人材の雇用と育成、医療の安全と質を維持するための費用の確保と消費税制等の改善を強く主張して行きます。また次世代を担う医師の育成において、包括的な地域医療の理念と機能を伝える必要があり、女性医師の医業継続の支援や過疎医療の確保も重要です。

から さわ よし ひと  
唐澤祥人 略歴

氏 名 唐澤祥人(からさわよしひと)  
生年月日 昭和17年4月20日  
本 籍 東京都  
現住所 東京都墨田区

■学 歴 等 千葉大学医学部卒業  
医籍登録 昭和43年8月  
学 位 昭和52年11月 医学博士授与

■職 歴  
昭和43年4月 (社福)同愛記念病院勤務  
昭和44年1月 唐澤医院開設  
昭和54年4月 日本大学医学部兼任講師  
昭和57年9月 司法保護司  
平成10年6月 東京都リハビリテーション病院  
非常勤副院長(平成15年4月まで)

■医師会歴  
昭和49年4月 (社)墨田区医師会理事  
昭和61年4月 (社)墨田区医師会副会長  
平成4年4月 (社)墨田区医師会会長  
平成6年4月 (社)日本医師会予備代議員  
平成6年6月 (社)東京都医師会監事  
平成7年4月 (社)東京都医師会理事  
平成10年6月 (社)東京都医師会副会長  
平成12年3月 (社)日本医師会代議員  
平成12年4月 (社)日本医師会監事  
平成15年4月 (社)東京都医師会会長(現在に至る)  
平成16年3月 (社)日本医師会代議員  
平成16年4月 (社)日本医師会理事(現在に至る)

■賞 罰  
平成8年10月 東京都知事表彰  
平成16年11月 (社)日本医師会最高優功賞  
平成17年7月 厚生労働大臣功績賞(労働安全衛生)

から さわ よし ひと  
唐澤祥人 日本医師会会長候補 選挙対策本部

丸の内事務所

唐澤祥人 日本医師会会長候補選挙対策本部 丸の内事務所

開設期間 2月8日(水)～4月2日(日)  
住 所 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-3 丸の内ホテル901号室  
(ホテルフロントは7階になっております。7階フロントにお申しつけの上、901号室へご来駕ください。)  
JR東京駅丸の内北口より徒歩1分  
電 話 03-3217-1111(代表)(客室901)  
携帯電話 090-7703-1181  
F A X 03-3217-1287(直通)  
E-mail karasawa-sentai@muse.ocn.ne.jp

お茶の水事務所

唐澤祥人 日本医師会会長候補選挙対策本部 お茶の水事務所

開設期間 2月2日(木)～4月2日(日)  
住 所 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-5 東京都医師会館内502号室  
電 話 03-5283-6758(直通)  
携帯電話 090-2758-1864  
F A X 03-3294-8522(直通)  
E-mail karasawa-sentai@muse.ocn.ne.jp

# 日本医師会会長に 立候補を決意した理由

から さわ よし ひと  
唐 澤 祥 人

東京都医師会会長

一刻の猶予も  
ゆるされない。



2年前の日医会長選挙によって新執行部が発足し、その活動に大いに期待を寄せ、私も理事の一員として、また東京都医師会会長として精一杯活動を支えて参りました。

しかしその後の検証により、理事に対しても正しい情報が全く示されず、執行部の一連の医政活動は会長とごく一部の役員が主導してきたものであることが明らかになりました。

### 政権政党との関係悪化

郵政民営化を問う政局の中で、日医執行部は武見、西島両参議院議員に対して、民営化に反対する票を投じるよう指示しました。しかし幸いにも両議員の見識ある選択によって政権政党との決定的な亀裂は回避することができました。しかし、昨年9月の衆議院選挙において、日医執行部は自民党支持を明らかにせず自主投票としたために、これは倒閣運動とみなされるような事態を招きました。

国民医療の政策立案にとって大きな存在であり、ともに国民医療の責任ある実現のために努力してきた政権政党と国会議員との協力関係を軽視し、日医内部での十分な議論を経ず、政権政党との関係をかってないほど悪化させました。

### 中医協改革における日医の失態

中医協改革において団体推薦制、構成員の割合見直しが議論されました。かろうじて委員枠だけは維持されましたが、これも武見議員をはじめとする有力議員の奔走によるものでした。ここでも目に見える日医からの働きはありませんでした。

### 1800万人の署名も有効利用されず

多くの国民の協力をえて、1月24日に約1800万人の署名を集め衆参両議長あてに提出しました。しかし、それは陳情でしかありません。前回の混合診療反対の署名のように有力議員の紹介のある請願ではないので、衆参両議院の適当な委員会へ付託されません。今後提出されるであろう保健関係諸法案への影響力も期待できません。

### いま重大な決意を

日医は国民医療の担当者としての強固な医療政策構想を踏まえて、内閣府、政府与党、財務省、厚生労働省をはじめ、国民世論に真の医療改革を強く訴えていかなければならないと考えます。私はこのような思慮の基に、全精力を傾け、国民医療のために日医のあり方を刷新すべく立候補を決意いたしました。数多くの会員、同志から絶大なご支持を頂いております。会員の皆様のご理解とご支援を切にお願い申し上げます。

平成18年2月吉日

東京都医師会会長

唐澤祥人

から さわ よし ひと

唐澤祥人 日本医師会会長候補 選挙対策本部

#### 丸の内事務所

唐澤祥人 日本医師会会長候補選挙対策本部 丸の内事務所

開設期間 2月8日(水)～4月2日(日)

住 所 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-3 丸の内ホテル901号室  
(ホテルフロントは7階になっております。7階フロントにお申しつけの上、901号室へご来場ください)  
JR東京駅丸の内北口より徒歩1分

電 話 03-3217-1111(代表)(客室901)

携帯電話 090-7703-1181

F A X 03-3217-1287(直通)

E-mail karasawa-sentai@muse.ocn.ne.jp

#### お茶の水事務所

唐澤祥人 日本医師会会長候補選挙対策本部 お茶の水事務所

開設期間 2月2日(木)～4月2日(日)

住 所 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-5 東京都医師会館内502号室

電 話 03-5283-6758(直通)

携帯電話 090-2758-1864

F A X 03-3294-8522(直通)

E-mail karasawa-sentai@muse.ocn.ne.jp